

## 第6回安曇野市地域福祉計画推進・策定委員会 会議概要

1	審議会名	第6回安曇野市地域福祉計画推進・策定委員会
2	日 時	令和5年10月26日 午後1時30分から午後3時25分まで
3	会 場	安曇野市役所 3階 全員協議会室
4	出席者	尻無浜会長、山崎(徳)副会長、山崎(博)委員、深井委員、池田委員、草間委員、竹澤委員、八田委員、小澤委員、酒井委員、依田委員、西澤委員、青柳委員、小木曾委員、藤松委員 <事務局> 安曇野市社会福祉協議会 地域福祉課 大澤課長、宮澤主幹係長、稲越まちづくり担当係長
5	市側出席者	上條課長、丸田係長、水野主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人 1 人	記者 0 人
8	会議概要作成年月日	令和5年11月8日

### 協 議 事 項 等

#### 1 開 会 (進行：上條課長)

#### 2 会長あいさつ (尻無浜会長)

委員会は令和4年度に2回実施しており、通算で今回6回目の開催になります。長い期間ご協力いただいていること、感謝いたします。

あらためて、本計画は第4期の策定となります。この計画は、5町村が合併し安曇野市となってから策定を始め、第2期は地域福祉活動計画と協力して実施し、第3期は従来の5町村の枠組みではなく、83の区をベースとして地域福祉に取り組んでいます。

いよいよ、今月、来月の第6、7回で議論の終結に向けて最終確認するタイミングになっております。各委員からいただいた意見等を反映した計画の修正案が示されています。確認をいただき意見を反映してより良い計画にしていけたらと思いますので、議論をお願いします。

#### 3 協議事項

##### (1) 第4期計画(案)について

①施策体系

②施策の展開

##### (丸田係長)

施策体系や施策の展開について、前回示した体系案について推進・策定委員、市社協、支部・地区社協、区長、アンケートを実施した団体・事業者に意見を伺い、指摘や意見を反映しました。指摘の中には推進項目が細かく分かれていること、言葉が難しいというものがありましたので、推進項目を66項目から40項目まで集約し、平易な項目名に変更しています。他に事業の実施主体を追加すること、事業を追加することについて指摘があり、反映していますので内容のご確認をお願いします。

資料に基づき説明。

(尻無浜会長)

具体的な事業について示されました。お気付きの点がありましたら、意見ををお願いします。

(池田委員)

日常生活支援総合事業に関わっていますが、若手の確保ができていません。利用する人たちが80歳前後で、75歳前後の人達が支援員として活動している現状があり、地域にある高齢者を支えていく組織の連携は大事になっていくと思います。また、地域の中で生き生きと元気で暮らすには、学びの場を通じながらみんなで力を出し合うことが重要になっていると感じています。

組織が連携し合い力を出し合っていくことが大事になるので、この地域福祉計画を徹底していき、住民の力をいただきながら安心して暮らせる地域を作る努力が必要だと感じています。

(尻無浜会長)

基本項目の1～4は、今後も含め安曇野市の地域福祉をどの様に目指していくかという項目になります。重点事項1, 2は、具体的にすぐに取り組んでいく事業を纏めています。この観点から、事業を具体的に記載すること、強く表現することなどの意見があればをお願いします。

(小澤委員)

福祉施設慰問の事業名称について、福祉施設利用者の支え手・受け手の関係を考えると、受け手だけではなく支え手に回ることも実感としてあるので、訪問の方が良いと考えています。

(藤松委員)

不登校の子どもについて、地域の問題になると思います。子どもの居場所や親も含めた相談窓口が大事になります。

事業のうち「コミュニティ・スクール」は「安曇野市コミュニティスクール事業」が正式名称になると思います。

担当課・実施主体に「地区公民館」が沢山出てきているので、地区公民館として負担を感じ、事業実施に温度差がでてくるのではと危惧しています。

(小木曾委員)

区長の成り手が減り、区の運営が困難になっています。事業を増やして負担が増えると、区長になるから区から抜けようとなって、地域福祉を成り立たせる方が減ってしまうと考えられます。

(青柳委員)

「マタニティ子供家庭訪問」として、妊娠時から出産まで家庭訪問し相談に乗る事業がありますが、民生児童委員では対応できない内容になります。市で対応する事業になるかと思います。

(山崎(博)委員)

災害ボランティアサポーター養成講座を市社協と実施した時に、区から抜けていく人が多いという声がありました。実施主体は市民と区民が分けられていますが、区民を対象とした事業で加入していない人はどうするのかという課題があると思います。

包括的な支援体制の整備について、既存の相談機関を並べるだけですと、重点化しているという点が市民に伝わり難いと感じます。もう少し踏み込んだ記載があってもよいと考えています。

③計画案

④地域福祉計画と一体的に策定する計画

(水野主査) 資料に基づき説明。

(2) 計画の基本理念について

(丸田係長) 資料に基づき説明。

4 その他

今後のスケジュールについて

(丸田係長) 資料に基づき説明。

(尻無浜会長)

事務局として、計画策定に向け日程通りに進められるよう努力してまいりますので、委員の皆様のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

5 閉 会